

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:平成 31年 2 月 21 日

事業所名 子育てサポートどんぐり

保護者等数(児童数) 23 回収数 20 割合 86 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	18	2			・スペースが少しせまい	・遊びによって広い空間を利用する等、工夫していきます
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	18	1	1		・先生が1人お休みされると少なく感じる事がある	・一人ひとりのスキルアップをしていきます
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	13	3	1	3	・療育に特化した建物ではない為充分ではないが衣食住の生活場所はわかりやすく工夫されていると思います	・整理しながら、刺激が少ない空間にしていきます
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	19	1			・清潔で工夫されていると思います	・毎日の清掃を今後も心掛けていきます
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	20				・面談や送迎時の話の中で充分理解して下さりその上で課題を見つけて	・面談等で、話し合いながら、作成していきます
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	16	1		3	・計画の中には子どもだけでなく保護者に対する支援もあり、実際とても丁寧に相談できるのでありがたいです。子どもの支援も、具体的に短期、長期とたてられています	・より具体的に支援内容を設定していきます
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	20				・行われています	・引き続きしていきます
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	19			1	・季節や成長に合わせて活動内容も変化してい	・状況に応じて活動は変えていきます
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	9		2	9	・難しいのではと思います	・地域の公園等で遊ぶ機会がありますが、幼、保と一緒に何かするということはまだできていません
保護者への説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	20				・充分説明されています	・今後も丁寧に伝えていきます
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	19			1	・療育開始時や年度始めにも大まかな説明があり、個別の計画も十分説明されています	・ガイドラインに沿って説明していきます
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	14	4		3	・面談や話の中、連絡帳ですべて頂いていると思っています	・ペアレントトレーニングの専門性を持った者がいない現状である。育成しながら、対応していきたい
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	19	1			・充分できています	・伝え合いながら、一緒に考えていくようにしていきます
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	20				・されています	・引き続きしていきます
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	12	4		4	・親の会の役員は皆ですと言っていましたがお互いの連絡先もわからず何もできませんでした	・再度、親の会の在り方を考え、体制も整えていきます
16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	17	1		2	・療育の初めての見学の時や幼稚園の事など幅広く相談に乗って下さりよりよくなるように考えて下さいました	・より、迅速かつ適切に対応できるようにしていきます	

	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	20			こどもの思いの代弁や親の思いの代弁までしてくださっています	・今後も配慮していきます
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	20			・どんぐりころころや、ハッピー通信で楽しく情報が伝えられ、活動の様子がよくわかり助かっています	・定期的な会報は実施しているが、ホームページを活用始めたのが、今年度からなので、そちらでも情報を発信していきたい
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	18		2	・されています	・今後も、十分に注意、取扱いしていきます
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	18	1	1	・緊急連絡の際も、十分な説明、具体的な内容の文章等で説明受けました	・周知、説明を徹底していきます
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	17	1	2	・LINEで連絡がくるのが助かります	・今後も訓練しながら、また連絡手段も確立していきます
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	20			・毎日とても楽しみにしています	・子どもが主人公になるように日々を創っていきます
	23	事業所の支援に満足しているか	20			・保育園等ではできないことをさせて頂いて大満足です	・より専門的な支援ができるようにしていきます

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせる実施されることが想定されている。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。